

会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会（第4回）地域と経済		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成27年7月28日(火)午後2時～午後4時30分		
開催場所	西庁舎 第5会議室		
出席者 (3人)	副リーダー	中村 裕子	委員
		渡邊 嘉二郎	委員
		河野 律子	委員
		杉山 薫	委員
欠席者	今井 啓一郎 委員		
事務局	企画政策課長	水落 俊也	
	企画政策課長補佐	中田 陽介	
	企画政策課係長	廣田 豊之	
	企画政策課主任	工藤 真矢	
	有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太	
	有限責任監査法人トーマツ	森田 清人	
傍聴の可否	㊦	一部不可	不可
傍聴者数	0人		
<p>【会議次第】</p> <p>1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について</p> <p>2 後期基本計画（素案）について《主な事業と成果・活動指標》</p> <p>3 その他</p> <p>※第3回起草委員会は、7月19日（金）締切だったが、修正がなかったため、確定とする旨確認した。</p> <p>【会議結果】</p> <p>1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について《審議会資料No.19》</p> <p>前回第5回審議会（7/13）で諮った案件であるが、各起草委員会で意見がある部分について引き続き議論し、その後、審議会を開催し、委員全員でオーソライズし中間答申とすることとした。</p> <p>○主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（NO.1について）今後の課題として、協議の場の検討、声かけや関係グループへの周知を是非とも進めていただきたい。 ・単に農地を拡大・維持するだけでなく、市民が農を支えるまちづくりを構築する旨の記載を追加してはどうか。 ・農工商連携の6次産業化の記載を追加してはどうか。 			

- ・市民農園の耕作放棄が発生している状況もあり、現状の市民農園にオプション（耕作について農業者が指導を行う、一部については農業者が行うなど）を追加することはどうか。

2 後期基本計画（素案）について《主な事業と成果・活動指標》 《起草資料 8》

○事務局より説明

- ・主な事業、成果活動指標は、原則、前期からの継続で設定しており、前期で事業が終了したものなどは、後期で新しい事業に変更している。
- ・主な事業については、施策についてのトピック的な事業であり、原則、1 施策 1 事業を挙げている。
- ・その主な事業と対になっているのが、成果活動指標であり、事業の達成度合い、施策の達成度合いについて、原則数値で目標を示している。

○主な意見

施策 21：地域情報ネットワークの推進

- ・技術革新が早い分野であるため、今後は事業の進捗推移をなんらか表示できるような指標を設定することの方がいいのではないか。《今回は意見のみ》

施策 22：危機管理体制の充実

- ・「危機管理体制の強化」や既に危機管理体制が構築されていれば、「強化」や「充実」の文言の方がいいのではないか。

施策 23：防災コミュニティづくり

- ・今後は「自主防災組織による防災訓練の数」としてはどうか。（アクティビティを表わす指標を掲げてはどうか。）《今回は意見のみ》

施策 24：防災機能の強化

- ・今後は「消防団の防災訓練の数」などにしてはどうか。指標として、数値で表わせるものの方がよいのではないか。《今回は意見のみ》

施策 29：地域資源をいかした観光の推進

- ・農業祭の来場者数に含めることも検討してはどうか。
- ・注釈があった方がいいのではないか。（H25 の桜まつりについて、特殊要因があったため。）

⇒農業祭が観光の推進に含まれるかを確認する。（事務局）

施策 31：農業基盤の確立

- ・今後は農作物出荷額などアクティビティの指標を設定してはどうか。
- 《今回は意見のみ》

施策 32：農業との交流推進

- ・今後、市民農園・体験農園の利用面積（耕作放棄地を除く実際の作付面積）を指標としてはどうか。《今回は意見のみ》

施策 68：組織の活性化と人材の育成・活用

- ・近隣市との人材交流を検討してはどうか。
- ・職員が市民から感謝されて活性化されるような仕組みづくりができないか。《今回は意見のみ》

施策 72：歳入の安定

- ・歳入の確保の観点からふるさと納税を有効活用し、地場産業の活性化にもつなげることを検討してはどうか。

～以上で会議終了～